
先進的窓リノベ2026事業 活用シミュレーション

窓改修による集合住宅における光熱費削減効果 および消費者調査結果について

先進的窓リノベ2026情報ステーション運営事務局
(株式会社 野村総合研究所)

先進的窓リノベ事業の補助対象建物について

- 断熱窓への改修による効果として、エネルギー消費量及び光熱費の削減、そして快適性や健康性の向上があることが、国の調査や学術研究等によって証明されつつあります。
- こうした断熱窓改修を、既存住宅ストックを中心に普及させる取組である先進的窓リノベ事業は、過去3年間、戸建住宅や集合住宅といった「住宅」を主な対象としてきました。
- そして、先進的窓リノベ2026事業からは、サービス付き高齢者向け住宅や学校といった「**非住宅**」も新たに補助対象に加わり、個人の自宅だけでなく、地域の暮らしや学びの拠点までもが補助対象となりました。
- これにより、家庭の省エネにとどまらず、地域全体のエネルギー消費の抑制、さらには高齢者や子ども等の健康を守り、快適性を向上させることを目指します。

本章について

■ 本章では、断熱窓改修による効果を、

①数字で見える効果と②体感された効果の2つの側面から紹介します。

① 数字で見える効果：

建物の中で最も熱の出入りが大きい場所である窓を断熱改修することで、冷暖房の効率が大きく改善され、光熱費の軽減につながります。

断熱窓への改修によってどれだけの光熱費を削減できるのか、試算結果をもとにご紹介します。

なお、サービス付き高齢者向け住宅や公営住宅は、建物構造が集合住宅と近いことから、集合住宅の試算結果を参考値としてご紹介します。

② 体感された効果：

先進的窓リノベ2025事業を実際に活用された方々へのアンケート結果をもとに、

日々の暮らしの中でどのような変化を実感されているかを紹介します。

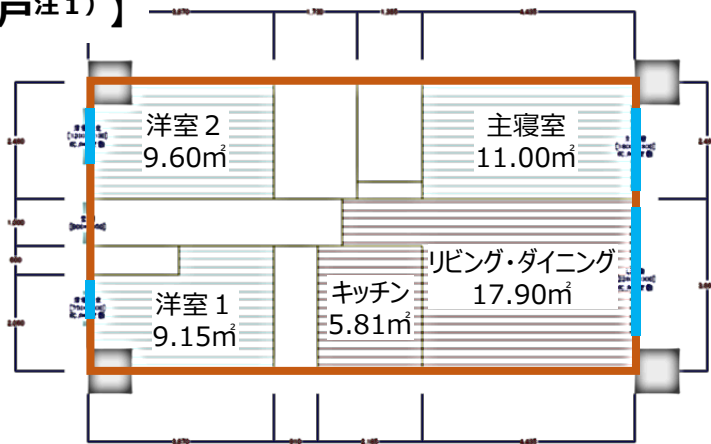
- 1. 集合住宅における光熱費削減効果**
- 2. 消費者アンケート調査結果**

モデル住戸と検証プロセス

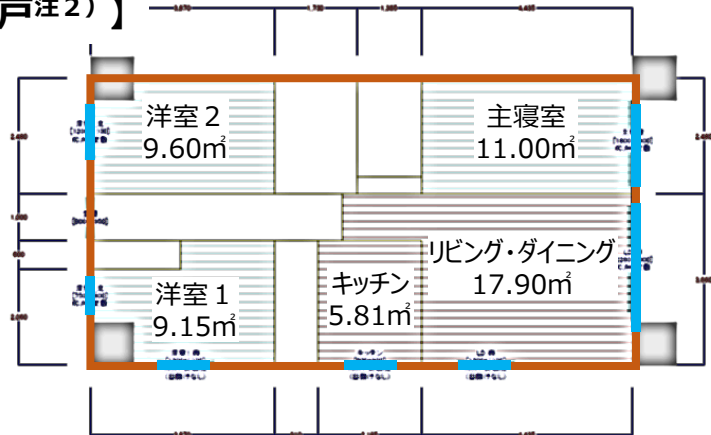
■ 先進的窓リノベ2026事業を活用して断熱改修を実施した際の光熱費削減効果を検証

■ モデル住戸（70㎡の3LDK）

【中住戸注1）】



【妻住戸注2）】



■ 検証パターン

地域区分（想定暖房方式）

2 地域（FF暖房）

札幌市など

4 地域（FF暖房）

長野市など

6 地域（エアコン暖房）

東京都など

住戸種別

中間階
中住戸

中間階
妻住戸

改修規模

LDKの窓
のみ改修

すべての窓
改修

すべての窓
改修
＋
外壁の
付加断熱

・・・さらに

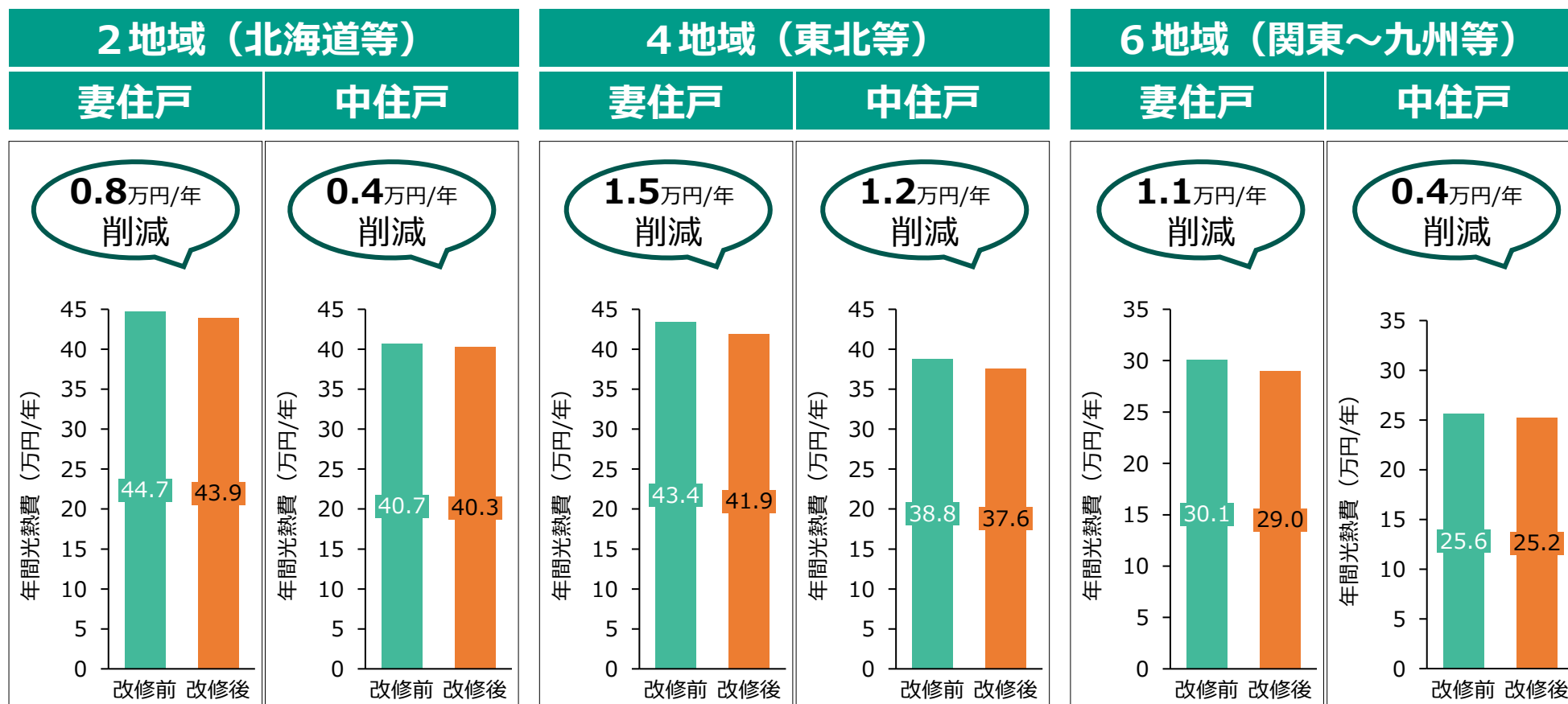
給湯器の省エネ改修効果も検証

注1）集合住宅において、両隣を他住戸で挟まれた位置する住戸を指す。

注2）集合住宅において、住棟の両端に位置する住戸を指す。角住戸ともいう。

集合住宅における光熱費改善効果（LDKの窓の改修）

- LDKの窓（妻住戸は3窓、中住戸は1窓）をグレードSに改修すると、
年間4千～1.5万円程度の光熱費の削減が見込めます※。



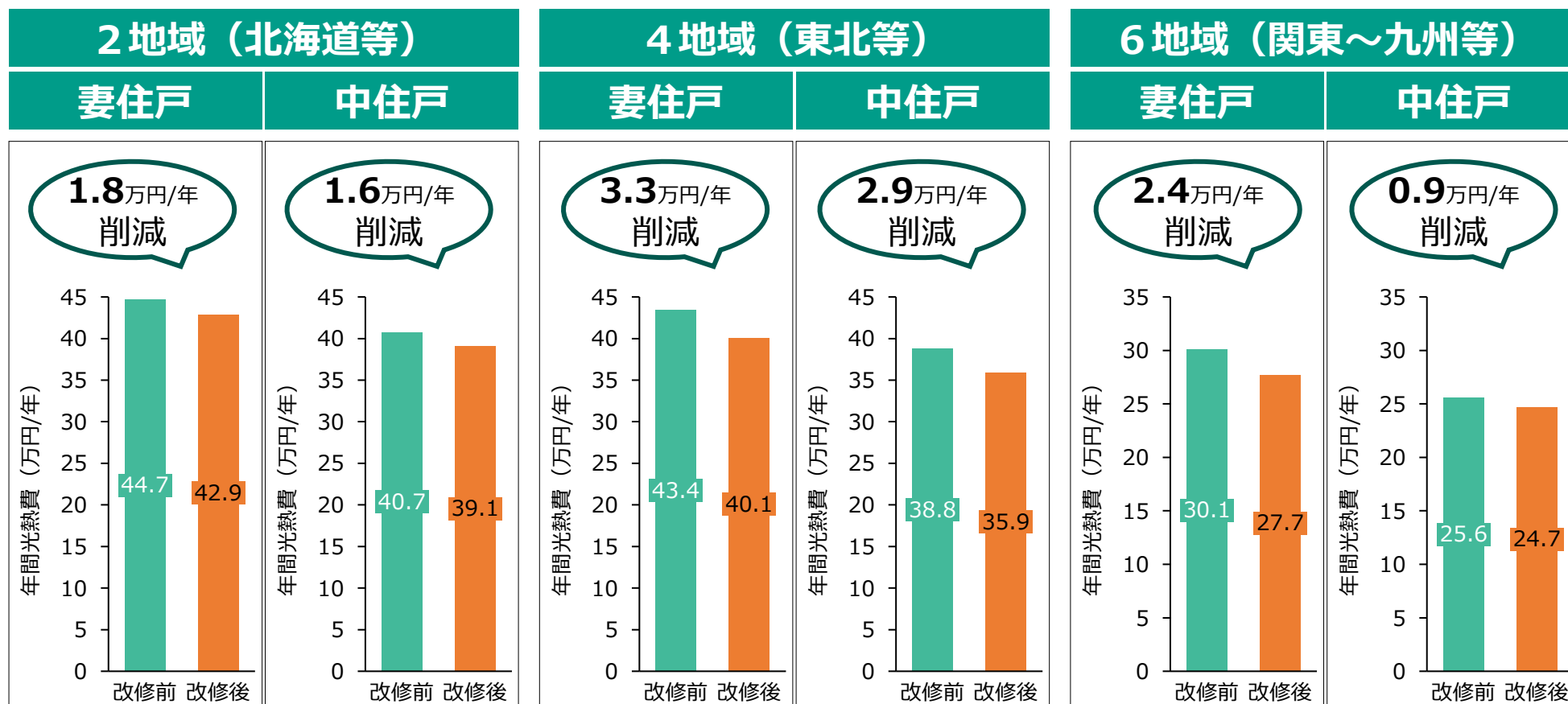
※ 延床面積等の条件を仮定した上でのシミュレーション結果の例（住宅に関する省エネルギー基準に準拠したプログラムを使用）

改修前の断熱性能は、昭和55年に設定された省エネ基準に基づいた断熱性能としています。

光熱費は2地域：北海道（北海道電力・北海道ガス）、4地域：長野県（中部電力・長野都市ガス）、6地域：東京都（東京電力・東京ガス）の2026年7月時点の料金表を用いて試算しているため、契約内容や料金の変更等により光熱費削減額が変動します。

集合住宅における光熱費改善効果（全ての窓の改修）

- 全ての窓（妻住戸は7窓、中住戸は4窓）をグレードSに改修すると、**年間9千～3.3万円程度**の光熱費の削減が見込まれます※。



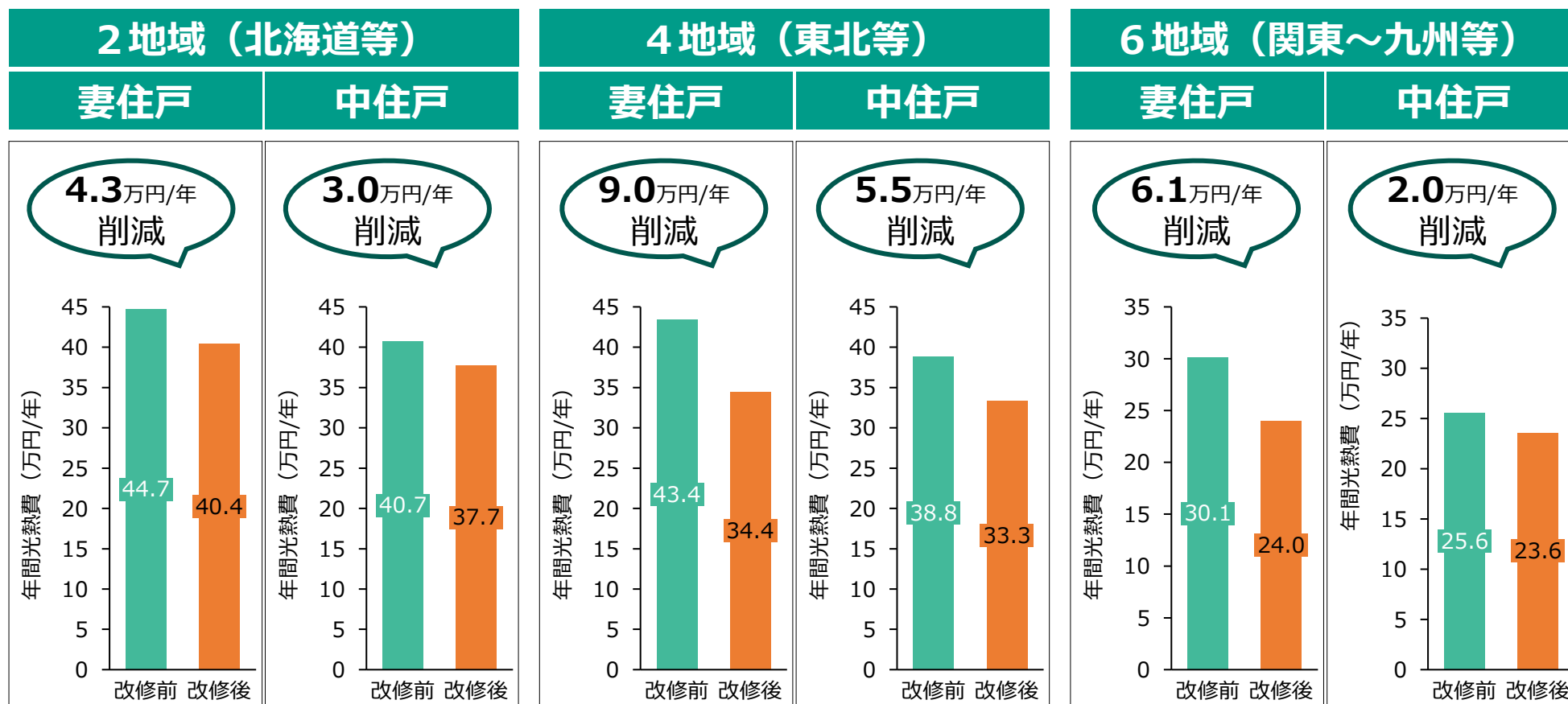
※ 延床面積等の条件を仮定した上でのシミュレーション結果の例（住宅に関する省エネルギー基準に準拠したプログラムを使用）

改修前の断熱性能は、昭和55年に設定された省エネ基準に基づいた断熱性能としています。

光熱費は2地域：北海道（北海道電力・北海道ガス）、4地域：長野県（中部電力・長野都市ガス）、6地域：東京都（東京電力・東京ガス）の2026年7月時点の料金表を用いて試算しているため、契約内容や料金の変更等により光熱費削減額が変動します。

集合住宅における光熱費改善効果（全ての窓＋外壁の改修）

- 全ての窓（妻住戸は7窓、中住戸は4窓）に加え、外壁の断熱改修を行った場合
年間2～9万円程度の光熱費の削減が見込まれます※。



※ 延床面積等の条件を仮定した上でのシミュレーション結果の例（住宅に関する省エネルギー基準に準拠したプログラムを使用）

改修前の断熱性能は、昭和55年に設定された省エネ基準に基づいた断熱性能としています。

光熱費は2地域：北海道（北海道電力・北海道ガス）、4地域：長野県（中部電力・長野都市ガス）、6地域：東京都（東京電力・東京ガス）の2026年7月時点の料金表を用いて試算しているため、契約内容や料金の変更等により光熱費削減額が変動します。

集合住宅における光熱費改善効果

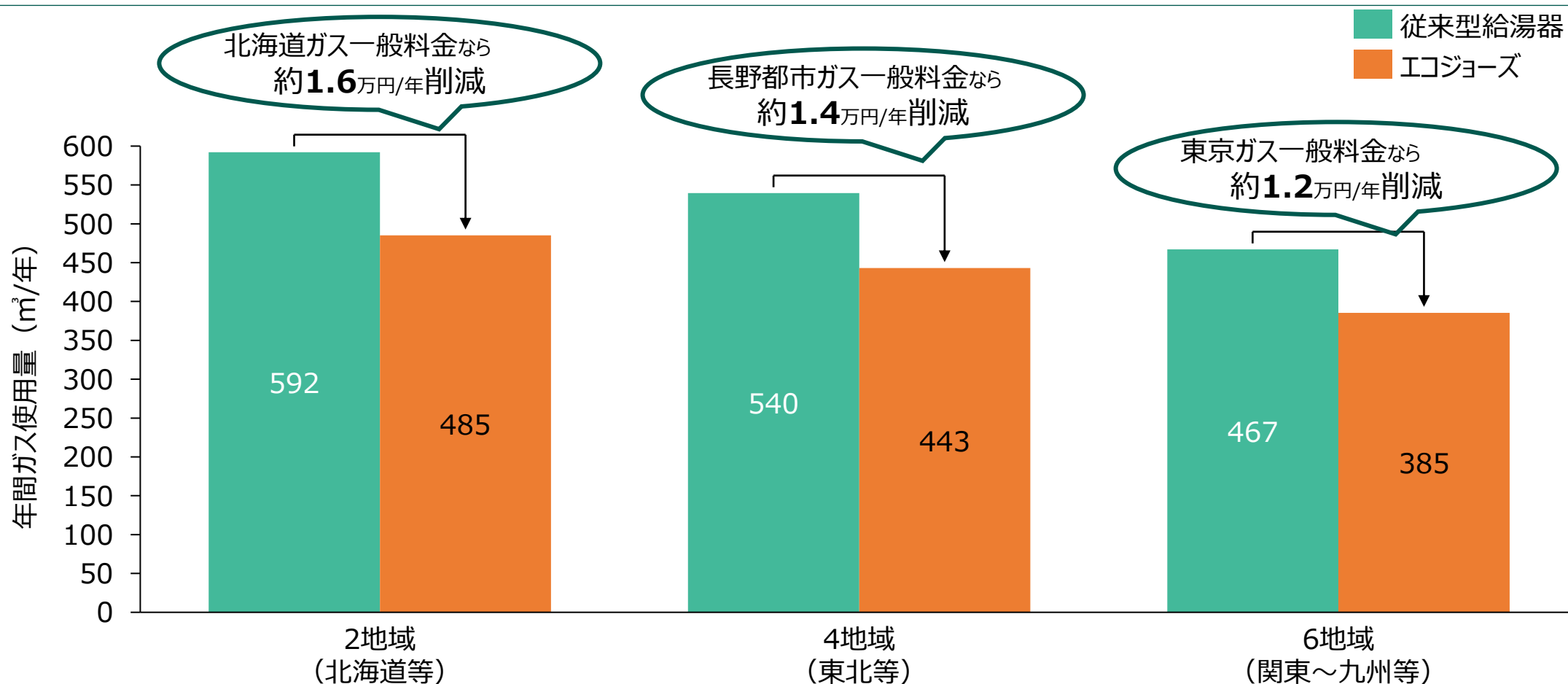
- 改修範囲を拡大するほど、光熱費削減効果は大きくなり、
最小で年間 4 千円（LDK窓）、最大で年間 9 万円（全窓＋外壁）の削減が見込まれます。
- 比較的温暖な 6 地域でも年間 4 千円～6.1万円の削減が見込まれており、
断熱窓改修の効果は寒冷地域だけでなく、温暖な地域にも及びます。

	2 地域（北海道等）		4 地域（東北等）		6 地域（関東～九州等）	
	妻住戸	中住戸	妻住戸	中住戸	妻住戸	中住戸
LDKの窓 の改修	0.8万円/年	0.4万円/年	1.5万円/年	1.2万円/年	1.1万円/年	0.4万円/年
全ての窓 の改修	1.8万円/年	1.6万円/年	3.3万円/年	2.9万円/年	2.4万円/年	0.9万円/年
全ての窓 ＋外壁の改修	4.3万円/年	3.0万円/年	9.0万円/年	5.5万円/年	6.1万円/年	2.0万円/年

(参考) 集合住宅における光熱費改善効果～給湯器の交換～

- 断熱改修の他、給湯器の更新でも光熱費を削減することができます。
例えば、従来型の給湯器を高効率給湯器（エコジョーズ）に交換した場合、
年間1.2～1.6万円程度の光熱費の削減が見込まれます。

従来型給湯器とエコジョーズの年間ガス使用量の比較



※ 光熱費は2地域：北海道（北海道ガス）、4地域：長野県（長野都市ガス）、6地域：東京都（東京ガス）の
2025年8～2026年7月時点の料金表を用いて試算しているため、契約内容や料金の変更等により光熱費削減額が変動します。

消費者調査 | アンケート調査の概要

- 窓改修の効果について把握するために、窓改修を行った消費者を対象としたインターネット調査を実施した。

調査概要

	実施期間	回答対象者数	有効回答数	回収率
春調査	2025年6月11日 ～7月16日	950人	183人	19.3%
夏調査	2025年8月4日 ～8月29日	4,973人	915人	18.4%
秋調査	2025年10月1日 ～10月31日	8,383人	1,307人	15.6%
冬調査	2026年1月13日 ～2月11日	15,701人	2,374人	15.1%

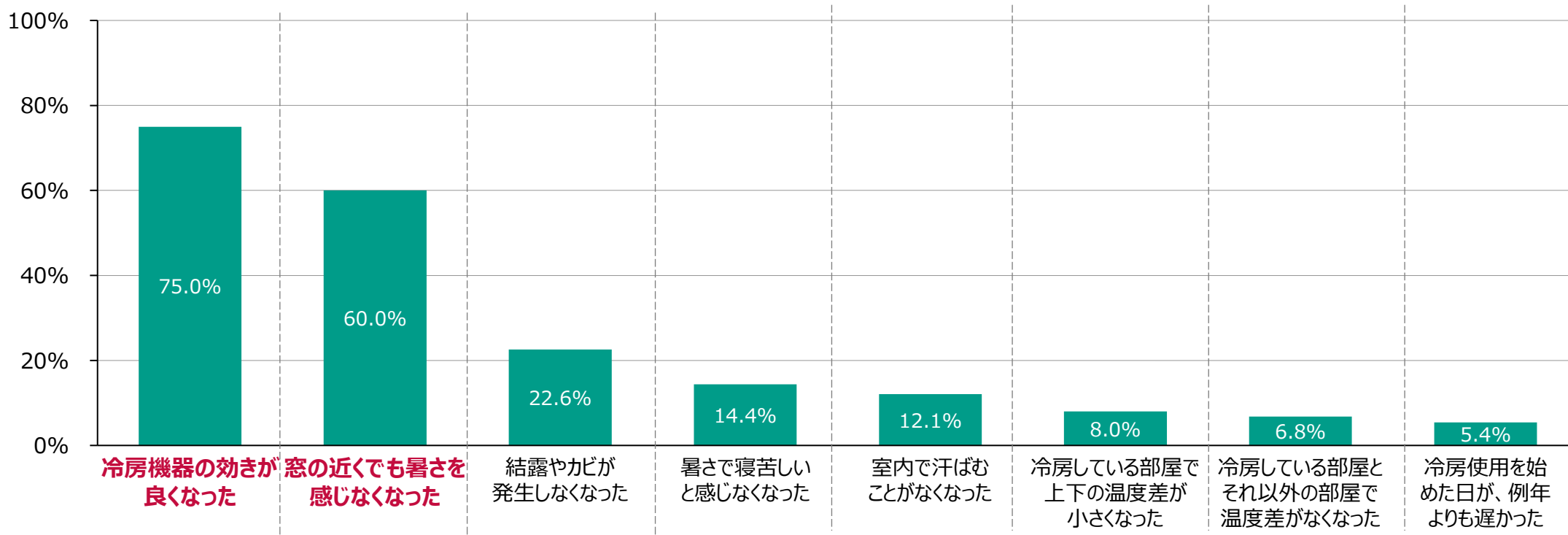
消費者調査 | 快適性への効果（夏）

- 窓の改修後のアンケート調査（夏調査）では、「冷房の効きが良くなった」、「窓の近くでも暑さを感じなくなった」、などの回答が多く得られた。

窓改修を行った消費者向けアンケート調査（夏調査）における改修前後での変化

「改修後（アンケートにお答えいただいている直近1ヶ月間）」と「改修前（前述の改修後期間の1年前）」で、主たる居室もしくはその他居室における冷房の使用状況や温熱環境に変化はありましたか。当てはまるものを全てご回答ください。

n=2,234（冬調査の主たる居室・その他の居室を改修した消費者）



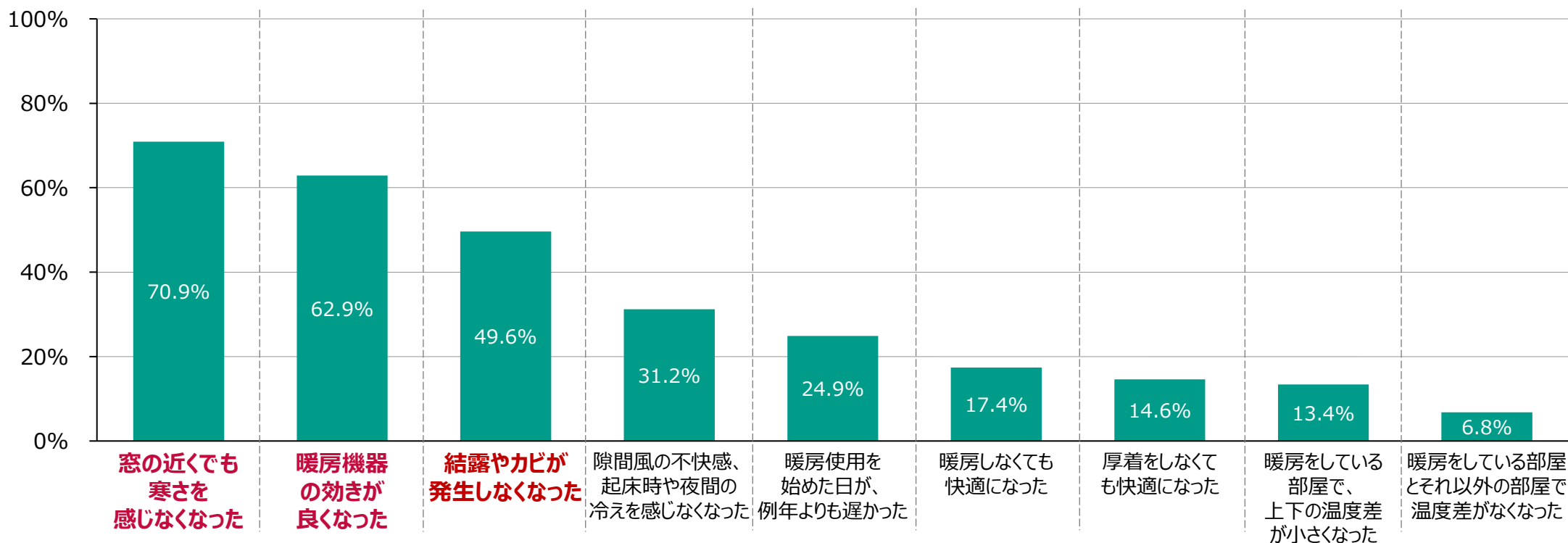
消費者調査 | 快適性への効果（冬）

■ 窓の改修後のアンケート調査（冬調査）では、「窓の近くでも寒さを感じなくなった」、「暖房の効きが良くなった」、「結露やカビが発生しなくなった」などの回答が多く得られた。

窓改修を行った消費者向けアンケート調査（冬調査）における改修前後での変化

「改修後（アンケートにお答えいただいている直近1ヶ月間）」と「改修前（前述の改修後期間の1年前）」で、主たる居室もしくはその他居室における暖房の使用状況や温熱環境に変化はありましたか。当てはまるものを全てご回答ください。

n=841（夏調査の主たる居室・その他の居室を改修した消費者）

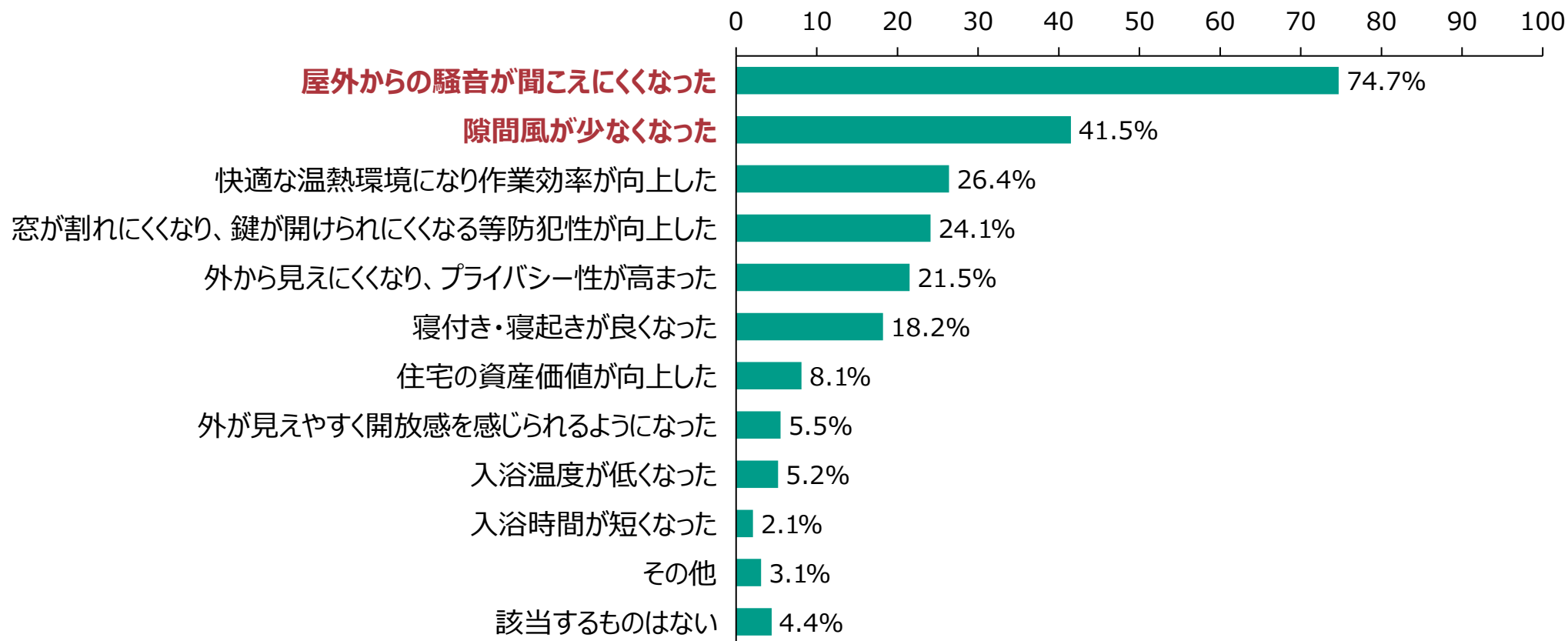


消費者調査 | 快適性への効果

- 温熱環境以外の効果として、7割強が「屋外からの騒音が聞こえにくくなった」、約4割が「隙間風が少なくなった」と回答している。

窓改修を行った消費者向けアンケート調査（通年）における改修前後での変化

その他、「改修後（アンケートにお答えいただいている直近1ヶ月間）」と「改修前（前述の改修後期間の1年前）」を比較して、感じられた改善効果はありましたか。
当てはまるものを全てご回答ください。



n=4,779

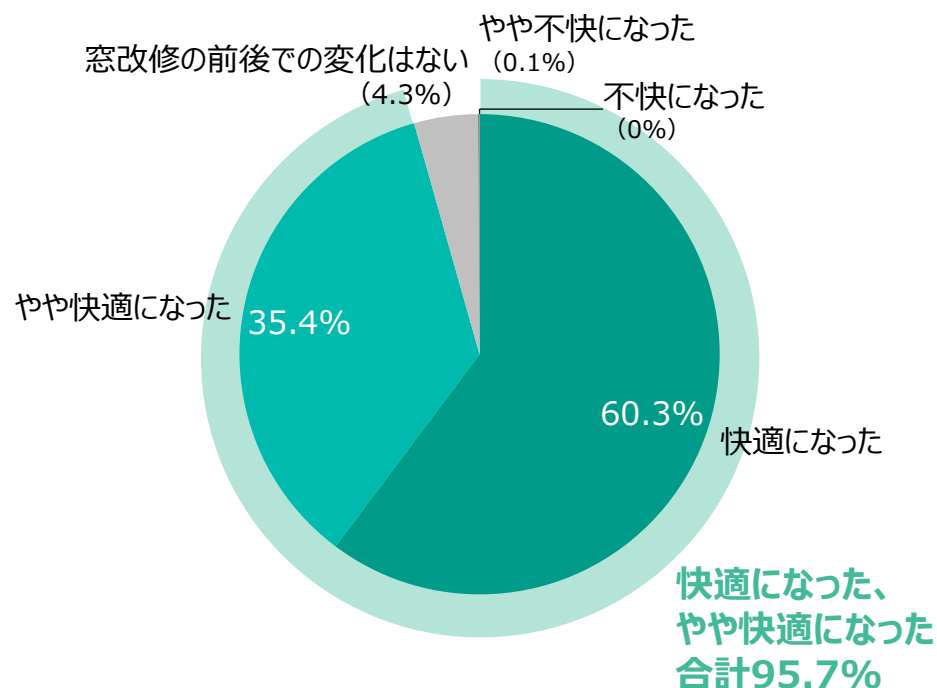
消費者調査 | 快適性の変化と満足度

- 主たる居室・その他居室を改修した消費者に限定すると、**95.7%**が「快適になった、やや快適になった」と回答。
- 先進的窓リノベ2025事業については、**96.9%**が「非常に良い、良い」と回答。

温熱環境の変化

「改修後（アンケートにお答えいただいている直近1か月間）」と
「改修前（前述の改修後期間の1年前）」を比較した時の
主たる居室もしくはその他居室における温熱環境に変化はありましたか。

n=4,463（主たる居室・その他の居室を改修した消費者）



先進的窓リノベ2025事業の満足度

先進的窓リノベ2025事業の満足度についてご回答ください。

n=4,779

